

---

# 母の日

龍斗

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

母の日

### 【Nコード】

N1256T

### 【作者名】

龍斗

### 【あらすじ】

<http://ameblo.jp/ryuto-inazu>  
[ma/entry-10885651143.html](mailto:ma/entry-10885651143.html)  
と重複投稿。

5月8日、「母の日」

母親を失った者が多いイナズマジャパン。

マネージャーの少女、冬花もまた、切ない想いを持っていた。

**（前書き）**

母の日。思い切って書いてみました。

日本代表・イナズマジャパンがFＦＩで優勝して、一年が経とうとしていた。

今日は5月8日、『母の日』である。

イナズマジャパン寮。

冬花は、自分の部屋で夜空を眺めていた。

月光の晒す元、青い鳥達が、アヤメの花畑を飛んでいた。そして風が冬花の髪を反らす。

「……………」

冬花が静かに空を見上げていると、久遠道也が入ってきた。

「どうした、冬花」

「お父さん…」。

今日は5月8日、『母の日』。

だけど、私にはお母さんが居なくて…毎年この日になると亡くなったお母さんのことを考えるの…」

グラウンドでは、緑川と栗松を加えたイナズマジャパンと、チーム・ガルシルドが練習試合をしていた。

「そうか。お前も、そんなことを考えていたのだな。」

この日本代表・イナズマジャパンは、多くの者が母親を失っている。

攻撃の要である豪炎寺・鬼道・吹雪・基山。豪炎寺以外は父親も

居ない。

エイリア学園や漫遊寺中学は、身寄りの無い子供たちが集まっている。緑川、木暮。

マネージャーであるお前や夏未、音無。

今対戦をしているチーム・ガルシルドも孤児達の集まりだ」

「皆も、お母さんがいない…」

冬花は俯く。

「だが、皆まっすぐに、前に進んでいる。

共に戦える『仲間』がいるからだ、

亡くなった親達が天国で見ていると信じているからだ」

「仲間がいるから…信じてるから…」

グラウンドに立つイナズマジャパンやチーム・ガルシルドは、皆笑っている。

仲間と共にサッカーを楽しんでいる。

ベンチに座っている夏未や音無も必死に応援をしている。

「嗚呼、そうだ。俯いて居ないで、笑っていけ！」

青い鳥は幸せの鳥。

お前の誕生日、この間の5月3日の誕生花、あのアヤメの花言葉は『信じるものの幸福』。

どれも濃さが違うが、お前の髪と同じ青紫の色だ。

その長い髪は、お前の母親ゆずりらしい」

冬花は、自分の長い髪を見る。綺麗な青紫色の髪。

「お母さんゆずりの青紫色の髪…」

「嗚呼。その髪は、お前と母親の絆の証だ」

冬花は、次に机の上に置いてある小さなクマのぬいぐるみを見た。

冬花の両親が亡くなった日に買ってもらった、思い出のぬいぐるみ。

「絆の証…。うん、そうだよね！

私、応援に行ってくる！信じ合える仲間達の応援に！」

冬花は部屋を飛び出し、グラウンドへ駆けていった。



今、鬼道と吹雪と基山が「ビッグバン」で点を決めたところだった。

「アイツも大きくなっ たな…」

フツ、と微笑み、道也も部屋を出て行った。

アヤメの花が風に揺れる。青い鳥が舞う。

そして冬花の青紫の髪も、揺れていた。

（後書き）

今日は5月8日、「母の日」

彦根城のたこ焼き屋さんを通ったとき、

春奈と春奈の両親の思い出の味、たこ焼きを思い出して、そ

そつえば今日は母の日だけど、母さんがいないキャラ多いなと  
気付いた。

で、メビで話題になって、小説書こうって。

だけど春奈にしかったのは自己満足。

その所為で「青」には出来なかったけどね。なんとか「青紫」つ  
てことで共通点を。

「幸せ 花言葉」で調べると丁度いいものが。

誕生花としては違っけれど、「5月3日」を冬花の誕生日に設定。

あと、最近「花鳥風月」気にいった。

そこに青い鳥とアヤメを思いついて……。

俺は父さんも母さんも居るし、弟もいる。

血の繋がりが強い家族で亡くなった人は居ない。

だけどイナイレのキャラは何故か親を亡くした奴が多い。

気にしないように見えて、絶対内心気にしてる。

だけど信じ合える「仲間」がいるから前に進めてるんだと思います。

そして当たり前のように親が居ることに感謝！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1256t/>

---

母の日

2011年9月13日21時12分発行